

常任委員会報告

予算委員会

12月定例会では一般会計補正予算としては異例のことですが、国に要望していた事項の前倒しが認められたこともあり、いくつかの事業予算が計上されました。

委員会では慎重審議の上、可決しました。

旧木下家住宅保存修理事業について

旧木下家住宅保存修理事業は、平成27年度から平成30年度までの4カ年事業としてスタートし、当初概算事業費として3億4,000万円が見込まれていました。

委員会では、「何とか事業費を縮減することができないか」と意見が出されていましたが、今回、耐震工事が当初見込みの約1億円から約3,000万円になる見込みで、総事業費が約7,000万円減額となり、今回の組立工事費1億4,547万円を含む総事業費は、約2億7,000万円以内になる見込みとの報告がありました。

臨時福祉給付金について

臨時福祉給付金は、消費税が5%から8%への引上げによる影響を緩和するため、暫定的・臨時的な措置として、住民税非課税の方に平成26年7月から

支給されてきています。

今回は、消費税率8%から10%への引上げが2年半延期されたことを踏まえ、平成29年4月からの2年半分、総額6,150万円、1人1万5,000円（平成29年7月以降に支給）を支給する経費が予算化されました。

高齢者の交通事故について

勝山市では、運転免許を自主返納した満65歳以上の市民を対象に、コミュニティバス及び市内バスの無期限の勝山市内バス無料乗車券を交付している。

しかし、全国的に見ると高齢者による交通事故が多発しており、その事故原因としては加齢によるものがほとんどである。そこで、市内在住の全ての70歳以上の高齢者に対してコミュニティバス及び市内バスの無料乗車券を交付した場合、市の負担額は現在よりどれくらい増えるのか検討するよう理事者に対して要望しました。

時間外勤務手当について

時間外勤務手当に関して、既決予算5,012万6,000円に対して、12月定例会の補正予算で2,510万円の増額予算が計上されました。平成27年度も時間外手当の補正があり、その際には、「職員の健康管理上問題があるのではないか」という指摘がありました。

理事者から、「今年度は時間外勤務削減のための新たな取り組みとして、勤務時間終了時に終礼を行い、時間外

勤務が必要な業務かどうかの確認を行っている」「国や県でも行っていた30分から1時間早く出勤して早く退庁することを、希望する職員が取り組むなど時間外勤務の削減に努めている」と説明がありました。

定住化促進事業について

定住化促進事業補助金として、850万円増額する予算が計上されました。委員会では、「以前の20万円のリフォーム補助事業を廃止して、今年度から100万円の市内住宅取得・リフォーム工事補助事業に転換したが、これまでの実績と効果はどれほどか」との質問に対して、「定住化促進事業として、新築18件、中古住宅取得2件の実績があり、U・Iターン者のさらなる増加を期待する」と回答がありました。

総務文教厚生委員会

■今定例会の審査結果

審査の結果、議案8件についてはすべて可決しました。また、陳情4件については1件を採択、2件を不採択、1件を閉会中の継続審査としました。

平成29年度以降の北谷町コミュニティセンター及び北谷公民館の指定管理について

平成29年1月から3月までは、北谷町コミュニティセンターと北谷公民館

の指定管理業務は別々に指定管理者を選定していましたが、平成29年4月から平成31年3月までの2年間、一括した指定管理としたいと説明がありました。これは、北谷町コミュニティセンターと北谷公民館の指定管理業務を一体的かつ効率的に運営するためで、2年間の指定管理料として2施設の合計で2,671万6,000円が債務負担行為として計上されました。

委員会では、「それぞれの施設に関する経理を明確にするようにすべきだ」という意見が出され、理事者は「定期的な打ち合わせや事業報告で、事業の進捗や指定管理料執行の状況を確認している。今後もしっかりとやっていきたい」と回答しました。

市立公民館の嘱託職員の新規募集について

平成29年度から9つの公民館を3つの中学校区に分け、1公民館に2カ年をかけて順次、正規職員に替えて嘱託職員を新規に募集していきます。

平成29年度は、勝山、猪野瀬、荒土の各公民館に1人目の嘱託主事を募集します。採用要件は、64歳以下で市内に在住又は居住予定で、普通自動車免許を有しているなどです。賃金は、平成29年度は、14万2,400円が初任給となっています。詳細については1月12日発行の広報かつやま、ハローワークの求人案内、各地区公民館が発行する公民館だよりなどをご覧ください。委員からは、若い女性を採用した場